

“スペースシャトル・アトランティス号(STS-117)のミッション状況”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆ミッションは順調に進行中

スペースシャトル・アトランティス号(STS-117)は、国際宇宙ステーション(ISS)での作業を全て終え、6月19日午後11時42分(米国中部夏時間6月19日午前9時42分)の分離に向けて準備をしています。

STS-117クルーは、ドッキング中に4回の船外活動を行い、S3/S4トラスの取付け、P6トラスの右舷太陽電池パドル(Solar Array Wing: SAW)を折り畳む作業、太陽電池パドル回転機構(Solar Alpha Rotary Joint: SARJ)の起動準備、打上げ後に確認された左舷軌道制御システム(OMS)ポッドの耐熱ブランケットのめくれの修理などを行いました。

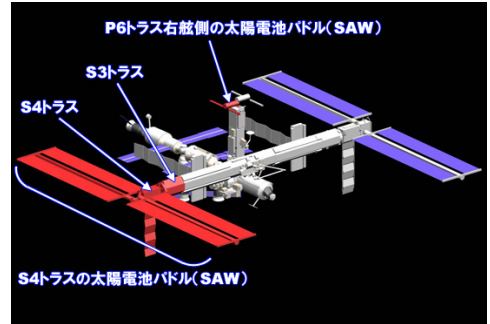
これにより、S4トラスのSAWが太陽を追尾して回転できるようになり、ISSの発生電力が増加しました。また今後のミッションでP6トラスをISS左舷側のP5トラスへ移動させる準備が整いました。

アトランティス号は6月22日午前2時54分(米国東部夏時間6月21日午後1時54分)にNASAケネディ宇宙センター(KSC)に着陸する予定です。

STS-117ミッションの最新情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://iss.jaxa.jp/iss/13a/> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts117/ (NASA: 英語)



STS-117ミッション終了後のISS



第2回船外活動(飛行6日目)



第3回船外活動(飛行8日目)



軌道上共同記者会見(飛行9日目)



第4回船外活動(飛行10日目)

(写真は全てNASA提供)

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

☆最初のISS構成要素打上げから3133日経過しました

☆第15次長期滞在クルーのISS滞在は70日経過しました

☆ISS動向

ISSのロシアモジュールを制御するロシアのコンピュータが相次いで停止し、6月13日に6台全てが停止しました。このコンピュータは、ISSの姿勢制御を行うコントロール・モーメント・ジャイロ(Control Moment Gyroscopes: CMG)に対して、バックアップとなる姿勢制御機能も提供しています。

第15次長期滞在クルーのフョードル・ユールチキン、オレグ・コトフ両宇宙飛行士は、地上の飛行管制官と協力しながら、原因究明作業と復旧作業を行い、故障していると思われる電力系の機能を迂回した結果、全て再起動させることができました。現在4台は稼働させ、2台は起動可能な状態にあります。エレクトロン(酸素発生装置)以外の、ロシアのシステムも全て運用を再開しました。また、ロシアの姿勢制御システムの試験の結果も良好でした。

また、ユールチキン、コトフ両宇宙飛行士は、アトランティス号でISSに到着し新たに長期滞在クルーに加わったクレイトン・アンダーソン宇宙飛行士やSTS-117クルーとともに、ミッションに関する作業を行いました。

これまで、第15次長期滞在クルーとしてISSに滞在し、アトランティス号で帰還するスニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士は、6月17日午後2時47分(米国中部夏時間6月17日午前0時47分)に、シャノン・ルーシッド宇宙飛行士が保持していた女性宇宙飛行士の1回のミッションでの宇宙滞在記録188日4時間を塗り替えました。



アトランティス号のクルーとの協調作業(提供: NASA)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。